

県政さわやかタウンミーティング

開催結果の施策への反映事例

○平成26年度反映事例

	テーマ	部局名	所属名	開催日	頁
①	家・庭一体の住まいづくり「担い手登録制度」	くらし・環境部	住まいづくり課	H26. 6. 10	2
②	自主防災組織における女性役員の参画拡大に向けて	くらし・環境部	男女共同参画課	H26. 11. 24	2
③	観光産業（ホテル・旅館）活性化に向けた意見交換会	くらし・環境部	建築安全推進課	H26. 12. 19	2
④	婦人保護事業に関わる意見交換	健康福祉部	女性相談センター	H26. 9. 11	3
⑤	ひとり親家庭への支援	健康福祉部	こども家庭課	H26. 9. 21	3
⑥	県民児協役員の意見聴取	健康福祉部	地域福祉課	H27. 1. 7	4
⑦	工業技術研究所が担う中小企業支援	経済産業部	沼津工業技術支援センター	H26. 5. 20	4
⑧	技術専門校を活用した社員教育	経済産業部	沼津技術専門校	H26. 7. 7	4
⑨	工業技術研究所が担う中小企業支援	経済産業部	工業技術研究所	H26. 7. 7	5
⑩	農林大学校に期待すること	経済産業部	農林大学校	H26. 8. 1	5
⑪	茶の新需要開拓	経済産業部	茶業研究センター	H26. 10. 19	6
⑫	コンテナ苗の規格案、生産体制の検討	交通基盤部	森林整備課	H26. 5. 22	6
⑬	麻機遊水地第3工区、浅畑川の利活用	交通基盤部	静岡土木事務所	H26. 5. 26	6
⑭	ふじのくに田子の浦みなと公園整備	交通基盤部	田子の浦港管理事務所	H26. 6. 23	7
⑮	鈴川海岸公園の整備について意見交換	交通基盤部	田子の浦港管理事務所	H26. 8. 23	7
⑯	協働で進める御前崎エコパークの緑地づくり	交通基盤部	御前崎港管理事務所	H26. 12. 3	8

①家・庭一体の住まいづくり「担い手登録制度」（平成 26 年 6 月 10 日開催）

担当所属	くらし・環境部 住まいづくり課
開催目的	「家・庭一体の住まいづくり」の普及促進のため、担い手となる住宅関係事業者の登録制度創設等について意見を伺う。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・県が登録制度を創設するに当たっては、基準をなるべく高いところに設定すべきである。 ・民間事業者に対して、助成制度の設置が望ましい。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> →建物の壁面後退や庭の緑化などについて、登録基準を高めを設定し、制度化した認定基準に反映させた。 →平成 27 年度予算で、内陸フロンティア推進区域内の認定基準を満たす住宅地整備における道路、公園等の公共施設整備に対する補助制度の予算措置を行った。

②自主防災組織における女性役員の参画拡大に向けて（平成 26 年 11 月 24 日開催）

担当所属	くらし・環境部 男女共同参画課
開催目的	自主防災組織における女性役員の参画拡大に向けての課題や必要とされる対策等について意見交換を行い、今後の施策に反映させる。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・規約改正するなどして、自主防災組織の運営に複数の女性が役員として関われる仕組みづくりが必要である。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> →自治会長等に女性の必要性を知ってもらい、自主防災組織の運営に複数の女性が役員として関われる仕組みをつくるため、「男女共同参画の視点からの防災手引書ダイジェスト版」をわかりやすい記載に改定した。ダイジェスト版を活用し、今後働きかけていく。

③観光産業（ホテル・旅館）活性化に向けた意見交換（平成 26 年 12 月 19 日開催）

担当所属	くらし・環境部 建築安全推進課
開催目的	耐震改修促進法の改正により耐震診断が義務化されたホテル・旅館の耐震化の促進に向けて、関係者から意見を伺う。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断後、迅速に耐震改修に取り組むためには経費負担軽減が必要であり、補助制度の更なる拡充をお願いしたい。

	→平成 27 年度から、中小企業が運営するホテル・旅館について、耐震改修に円滑に取り組むことができるよう、県の補助制度を拡充する。
--	---

④婦人保護事業に関わる意見交換（平成 26 年 9 月 11 日）

担当所属	健康福祉部 女性相談センター
開催目的	婦人保護事業に関わる県機関と一時保護委託先との情報交換及び課題共有を図る。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人女性被害者や男性被害者への支援体制が十分でない。 ・情報公開の必要性は理解できるが、施設情報等の秘密保持は最も優先すべきであり、安易に情報を出すべきではない。 <hr/> <p>→他県での状況や意見等を収集した。様々なネットワークを活用できるよう関係機関の連携を強めていく。</p> <p>→関係機関等に対して、研修の開催や職員を講師として派遣するなどして事業内容の周知と連携を図っていく。</p>

⑤ひとり親家庭への支援（平成 26 年 9 月 21 日）

担当所属	健康福祉部 こども家庭課
開催目的	第三次静岡県ひとり親家庭自立促進計画策定にあたり、当事者から様々な意見を伺う。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な心配がなく、子供が大学に行ける環境をつくってほしい。 ・面会交流ができていないので公的支援があれば利用したい。 <hr/> <p>→平成27年度予算事業に反映した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者同士の交流及び情報提供のためのセミナー、交流会を実施。 ・事前相談や面会交流の付き添いなど、専門家のサポートにより安心して面会交流できるよう支援。 ・ひとり親家庭の子が小学校に入学する際にランドセル等の購入費用の補助をする市町に対して助成。

⑥県民児協役員の意見聴取（平成 27 年 1 月 7 日）

担当所属	健康福祉部 地域福祉課
開催目的	県民児協役員の意見を伺う。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の情報提供・共有のあり方及び委員活動への支援の充実に関しては、県内各地域における好事例を収集し、県内各地に周知し普及してほしい。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> →市町や関係各所から地域で行われている委員活動等に係る好事例を収集、好事例集を作成し、周知・啓発を図る。

⑦工業技術研究所が担う中小企業支援（平成 26 年 5 月 20 日）

担当所属	経済産業部 沼津工業技術支援センター
開催目的	沼津センター協議会会員より意見を伺い、中小企業等への支援施策へ反映させる。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・企業とセンターとのより密な交流・協力を望む。 ・県の産業支援施策の方向性に関する情報も積極的に知らせてほしい。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> →工業技術研究所 4 拠点に平成26年 3 月開設したものづくり産業支援窓口を活用して産業支援機関と連携した出張相談を実施する等、積極的に現場へ出向いてものづくり活性化に向けた技術支援に努めた。 →産業支援施策に関わる助成制度や各種募集案内等を地域企業等へ電子メールにより平均週 1 回程の頻度で提供した。

⑧技術専門校を活用した社員教育（平成 26 年 7 月 7 日）

担当所属	経済産業部 沼津技術専門校
開催目的	人材育成に関する意見を伺い、今後の技術専門校を活用した社員教育について考える。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・内定者セミナーはありがたい。 ・専門校の訓練を活用し、きっちりと基礎を身につけてもらいたい。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> →平成27年 3 月に就職内定者セミナーとして、「新入社員意識向上セミナー」「これだけは知っておきたい機械図面の読み方」「製造基礎教育」の全 3 コースを実施した。新卒内定者の職場定着を支援するため、入社前に職場で必要とされる社会人としての心得やマナー、製造現場での安全教育などを習得する内容となっている。訓練ニーズに合致した内容を取り入れ、体系的に訓

	練を構成し必要な講座を選択できるように設定した。
--	--------------------------

⑨工業技術研究所が担う中小企業支援（平成 26 年 7 月 7 日）

担当所属	経済産業部 工業技術研究所
開催目的	工業技術研究所静岡協議会委員会から意見を伺い、中小企業等への支援施策へ反映させる。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・一丸となって産業界を支援してほしい。 ・世界に通用する技術の開発は、グローバルな販路を持つ企業とともに取り組んでほしい。 ・静岡の豊富な資源をアジアや世界の海外マーケットに売り込む出口戦略が重要である。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> →特徴的な技術の開発、商品デザインの考案、企業間の橋渡しなどに複数分野の職員が連携して取り組み、企業への総合的な支援を行った。 →静岡県国際経済振興会（S I B A）や J E T R O 静岡などの支援機関と情報交換を行うとともに、共同でセミナーを開催した。

⑩農林大学校に期待すること（平成 26 年 8 月 1 日）

担当所属	経済産業部 農林大学校
開催目的	卒業生から大学校運営等に対する意見を伺う。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・農林大学校においては、先進経営研修は他の事業より予算を優先的に行うことが必要だと考える。また技術より考え方や経営理念を学ぶことが大切である。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> →先進経営研修が重要な研修であるとの認識のもと、農業経営士協会や農林事務所との連携を深めるとともに、より実践的な研修となるよう研修時期の見直しや農業法人協会等への働きかけを行う。

⑪茶の新需要開拓（平成 26 年 10 月 19 日）

担当所属	経済産業部 茶業研究センター
開催目的	日本茶インストラクターを対象に「茶の新需要開拓」の方向性を模索する。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・「香り緑茶」「白葉茶」とともに将来性のあるお茶である。新しい取組に積極的に関わっていききたい。 <hr/> <p>→平成 27 年度の新規事業として、JAグループと連携した商品開発、首都圏営業拠点の支援、「香り緑茶」「白葉茶」を商談会でPRする。</p>

⑫コンテナ苗の規格案、生産体制の検討（平成 26 年 5 月 22 日）

担当所属	交通基盤部 森林整備課
開催目的	県内で試験的に導入しているコンテナ苗の生産体制を整備する。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ苗の規格について、林野庁が示す規格のすべてを採用するのは難しい。 ・コンテナ苗は普通苗に比べて生産経費が高いため、苗代が高くなる。導入の初期においては、差額を補助する仕組み作りが必要である。 <hr/> <p>→林野庁が示すコンテナ苗の規格（1号から6号）のうち、県の規格として2号から5号を採用する。</p> <p>→種苗委員会の積み立てを活用して、補助制度を作る。平成 27 年 6 月の委員会で制度の採択を行う。</p>

⑬麻機遊水地第3工区、浅畑川の利活用（平成 26 年 5 月 26 日）

担当所属	交通基盤部 静岡土木事務所
開催目的	麻機遊水地の環境保全活動を実践している団体と意見交換することで、現状の課題や今度の方向性を探る。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・麻機遊水地第3工区の除草にあたり、ヤギ、ヒツジ等を放牧するのも一つの手段と考える。また、ヤギ、ヒツジ等の放牧は、子供たちの環境教育にも役立つと考える。

	<p>→平成 26 年 11 月 4 日から平成 26 年 12 月 6 日にかけて、麻機遊水地第 3 工区において、ヤギを放牧し、除草に関してどの程度の効果があるか検証を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
--	---

⑭ふじのくに田子の浦みなと公園整備（平成 26 年 6 月 23 日）

担当所属	交通基盤部 田子の浦港管理事務所
開催目的	これから整備する公園施設についての意見交換。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な社会教育施設「ディアナ号」の整備を早急に進めること。 ・展望タワーの整備を早急に進めること。 <p>→「ディアナ号」については、平成 27 年度補助事業で要求する。 →展望タワーについては、平成 27 年度県単独事業で要求する。</p>

⑮鈴川海岸公園の整備について意見交換（平成 26 年 8 月 23 日）

担当所属	交通基盤部 田子の浦港管理事務所
開催目的	公園の整備計画を説明し、地域住民の理解を得る。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりを設けてほしい。 ・海への眺望を確保してほしい。 ・椿を植栽してほしい。 <p>→堤防に転落防止の手すりを設置する。 →公園部分に腰掛けて海を眺められる巨石ベンチを設置する。 →椿の植栽は、環境の似ているふじさん田子の浦みなと公園の育成状況を参考に検討する。</p>

⑩協働で進める御前崎エコパークの緑地づくり（平成 26 年 12 月 3 日）

担当所属	交通基盤部 御前崎港管理事務所
開催目的	御前崎エコクラブとエコパークの現状及び今後の整備について意見交換をする。
意見概要 →施策への反映	<ul style="list-style-type: none"> ・御前崎エコパーク内にある松くい虫により枯れた松を撤去してほしい。 ・旧トイレ施設を倉庫として使えるように改装してほしい。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> →松くい虫により枯れた松については平成 27 年 1 月に撤去した。 →旧トイレ施設の床の段差解消、木製壁撤去等を平成 27 年 3 月に実施。